

## 2024（R6）年度 学校評価

### 2024 年度「大町幼稚園 学校評価」を終えて

大町幼稚園では 園則に定めている通り、学校教育法に基づいて 2024 年度の活動に関して学校評価を実施しました。ここにその結果を公表し、ご報告いたします。

評価に際しては、その客観性を高めるためにまず保護者の皆さまを対象にアンケートを行い、それに「幼稚園運営」を加えた計 10 項目に教員が自己評価をしたものをそれぞれ集計・分析し、そこに改善案を考えたものを学校関係者評価委員の方々に更に評価していただきました。（自由記述式で書かれたものは余すところなく載せてあります。）

お忙しい中を関わって下さった皆様に、この紙面を借りてお礼を申し上げます。また保護者の皆様からは当園の教育・保育に関して大変好意的な評価をいただいたと嬉しく感じます。けれどもそれと同時に園全体の課題や保護者の皆様の想いや要望も明確になりましたので、できることは 2025 年度から改善して参ります。

子どもたちは神さまからお預かりしたかけがえのない大切な存在です。過去5年間を振り返りますと、新型コロナウイルスの流行による社会の混乱と弊害、ウィズコロナという生活、早川前園長の召天、少子化による園児の減少、激動する社会情勢など、子どもたちを取り巻く環境は先行きの見通せない不安定なものではありますが、この幼稚園だけは子どもたちが安心して過ごせる「園」でありたいと願っています。私たちの力が及ばないことも多々あるかとは思いますが、より一層質の高い教育・保育を目指して 教職員一同、日々力を尽くしてまいりますので、これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

2025 年4月

学校法人信濃キリスト教学園

幼保連携型認定こども園

大町幼稚園

園長 峯村 広美

2024年度 信濃キリスト教学園大町幼稚園 学校評価結果(学校関係者評価シート)

A(十分達成できた 4点) B(おおむね達成できた 3点) C(どちらかといえば課題がある 2点) D(課題がある 1点)

	項目	重点目標(取り組み)		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
1	教育方針・教育目標の理解	教師自身、教育方針(いつくしみの保育)と教育目標(元気な体・優しい心・考える力)の理解を深め、保育内容に活かす。	教師	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気な体・優しい心」は向き合うことが出来たが、「考える力」はなかなか難しい。主体的に動きたくなる心を育みたい。</li> <li>・子どもたちの心身の成長のために日々学び考え、子どもたちと向き合うことができた。</li> <li>・昨年度の保護者意見で外遊びを増やしてほしいとの意見を受入れ、時間をしっかりとったため、保護者からは好評であった。</li> <li>・未満・未未満クラスは初めての集団生活で、その中のトラブルや葛藤も多くあったが優しい心や考える力を育てることができた。</li> <li>・教育目標の三つは常に意識し目標として保育内容を構成していた。教育方針の「いつくしみの保育」とはどんなものなのか？もっと目を向け今後の課題としたい。</li> <li>・「元気な体」に対し、散歩に行けない時は室内でダンスなど体を意図的に動かす活動をした。</li> <li>・子どもたちの心の動きを受け止め共感しながら関わることが出来た。</li> <li>・子ども自身が考える機会を意識した。「元気な体」に対し、定期的な運動を入れることが出来なかった。</li> </ul>	<p><b>当園の教育理念</b>            発達の順番として身体の発達を大切にし心を育み考える力へ導きたいと考え、教育時間を過ごしています。ご家庭とも連携してまいります。</p> <p>⇒長期的ビジョンを持てるよう、連携していきます。</p>	3
			保護者	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の参加が可能なお礼拝で、子どもの様子がわかりありがたい。</li> <li>・礼拝のお話やお祈りの話を父に話す姿がありました。</li> <li>・愛情深く育てています。</li> <li>・「自然の恵み美味しいご飯が食べられる」、「健康で元気に走り回れるお父さんお母さんがいる」など当たり前のことに対し、子どもとの会話で大人が忘れがちな「ありがとうの気持ち」を改めて思い出させてもらっています。私はキリスト教ではありませんが、キリスト教のお祈りや対話、讃美歌を通して「少し深いありがとう」を教えて頂いているなど実感しています。とても感謝です。</li> <li>・お便りなどで讃美歌を共有してほしい。一緒に覚えたい。</li> </ul> <p>・考え方の共有や、その機会が少ない気がする。</p>	<p>→ 連絡ノートなどで担任にお知らせください。積極的に対応します。</p> <p>→保護者の方が参加できる礼拝もあります。ご利用ください。</p>	

	項目	重点目標(取り組み)		取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価	
2	キリスト教保育	教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れるキリスト教保育の学びを深める。	教師	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キ保連で他園の牧師の聖書に対する考えや思いを聞いたことは良い機会だった。</li> <li>・2週に一回の聖書を学ぶ会やキ保の研修を通して教師としての心構えを学べた。</li> <li>・教職員の多くが「あたたかなまなざし」で向き合っていると感じていることは非常に嬉しい。</li> <li>・子どもたちが神様から与えられた大切な存在であると意識し日々過ごした。</li> <li>・出来るようになる過程と一緒に感じる事ができ、子どもの手を引くよりも個々のタイミングに合わせて少しずつ背中を押す保育ができた。</li> <li>・「目に見える部分だけでなく内面を信じる事が大切」とキ保連の話し合いで学べた。</li> <li>・合同礼拝の時の教会員 M さんのお話が面白く勉強になった。</li> <li>・キ保誌を読み込む時間が少なかった。</li> <li>・子どもに添い遂げることが出来なかったことがあり後悔している。</li> </ul>	⇒研修を意識的に行い自己教育していきます。	4
		日々の礼拝やキリスト教の行事を通して、大切な人間関係の基礎を育てることを目指す。	教師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お母さん・お父さんを守ってくれてありがとう」などほとんどの子どもが感謝の気持ちをお祈りしてくれた。</li> <li>・初めての対人関係となる場面では、子どもの発達に合わせて「ありがとう」「ごめんね」等見本を見せながら行った。</li> <li>・低年齢のクラスのお礼拝はできることを無理せず行った。人間関係の基礎を育てるところにはつながらなかった。</li> <li>・礼拝や行事ではその出来事や由来を意識し、年齢に合わせてどこに焦点を合わせるか考えていきたい。</li> <li>・キ保誌を読み込むことで話の幅が広がった。</li> </ul>		

	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題		学校関係者評価
3	少人数保育	教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。	教師	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの角度で子どもの成長を見つめ共有できた。</li> <li>・一人担任ということもあり自分で背負うことが多く感じたが、周りの先生たちのフォローや気遣いに助けられた。</li> <li>・子どもたちの様子や行事の方針など先生たちで話し合い意見を出し合って進めることが出来た。</li> <li>・常にアイデアを出せる環境であり、意見も素直に受け止め合いました。</li> <li>・自分で抱え込みすぎず、頼れる関係を築かせてくれた職場の雰囲気と、副担に感謝です。</li> <li>・それぞれの保育感を共有しながら子ども一人ひとりに向き合う保育が出来た。</li> <li>・全体的に風通しがよく「報告・連絡・相談」が出来ている。</li> <li>・クラス内の先生が3人いるとローテーションの関係で3人同時に話し合う時間がとりにくかった。</li> </ul>	⇒今年度は3人先生が配置されているクラスはありませんが、連携できるよう朝礼や会議の際確認・声掛けします。	4
		あたたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは、安心感を抱き、愛されていることを感じている。	教師	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一学期は泣きながら登園していたお友だちも今では元気にお家の方に「行ってきます」が出来る様になった。幼稚園も安心できる場所、楽しい場所になったんだと嬉しく感じた。</li> <li>・園の生活に不安があった子どももいると思うが、安心して過ごせるよう明るい雰囲気を意識した。</li> <li>・気持ちが不安定な時はスキンシップをして優しく受け止めた。</li> <li>・子どもたちも友だちを思いやる様子が見られるようになった。</li> <li>・失敗しても大丈夫と安心してチャレンジする場を作ってきた。</li> <li>・保育士・保護者の方が子どもを励まし応援することが子どもの自信に繋がった。家庭環境が難しい場合は、園で安心して楽しく過ごせるよう意識した。</li> <li>・「そのままでもいいよ」と子どもを受け入れている保育者の姿に、子ども一人ひとりの思いを受け入れることを一番意識した。</li> </ul>		
		幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境作りをしていると思いますか？	保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日その日の出来事を教えていただきうれしいです。</li> <li>・一人ひとりのことをよく見てくれてとても安心しています。</li> <li>・今年度は様々な事情で本人が不安定になってしまいましたが、先生方と密に連絡し話し合いをすることで安心して通うことができました。</li> </ul>		
		幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境作りをしていると思いますか？	保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日その日の出来事を教えていただきうれしいです。</li> <li>・一人ひとりのことをよく見てくれてとても安心しています。</li> <li>・今年度は様々な事情で本人が不安定になってしまいましたが、先生方と密に連絡し話し合いをすることで安心して通うことができました。</li> </ul>		

	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
4	戸外遊びの充実	戸外で友だちと思いきり身体を動かして遊ぶことを通して <b>元気で丈夫な体作り</b> をする。	教師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この一年、一番大切に考えてきた。散歩も下見して新しい場所を開拓できた。</li> <li>・クラスで散歩に出かけたり、外で遊ぶ時間をたくさん作ったり、十分に体を動かして過ごすことができた。</li> <li>・朝の会の前に運動時間を取り入れ、楽しみながら丈夫な体作りを目指した。</li> <li>・室内・戸外問わず身体を動かす環境を設定した。</li> <li>・ルールのある遊びを積極的に取り入れることで、遊びの引き出しを増やすことができた。</li> </ul> <p>・<b>室内遊びの充実とともに運動遊びを取り入れるべきだった。</b></p>	⇒クラス外の先生や主任とも連携していく事で保育の振り返りをしよう。	3
			保護者	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>帰宅後もまだまだ体力が有り余っていて走り足りない様子が見られます。運動(遊び)の時間を 増やしてもらえるとありがたい。</b></li> <li>・<b>園の方々にはたくさん体作りに関してしてもらっていますが、つくし・ひよこ組だけでも鼻水や咳が増えているお子さんはなるべく休みにしてもらえると感染が少ないと思います。・・・難しいですね・・・。</b></li> <li>・今年の外遊びや散歩をたくさん行っていただきありがとうございます。</li> <li>・たくさん外で遊ばせていただき子どもが喜んでいきます。</li> <li>・外遊びやお散歩はとてもよいことだと思います。特に歩くことは大事だと言われているので散歩の機会はありがたかった。</li> <li>・小学校が遠いので散歩たくさんしてくださりありがたいです。</li> </ul>		
			教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びの年代なので、その子の発達・興味を見ながらおもちゃを導入し、創造力を高めた。</li> <li>・ひよこ・つくしの2学年と一緒に過ごしたことで遊びの環境作りには難しさを感じた。この時期に合わせた遊びの環境設定をもう少し学びたい。</li> <li>・自分の遊びを楽しみながらお友だちの遊びに興味を持つことができた。</li> <li>・遊べない子、何をしたらいいかわからない子も2・3人いて、様々なアプローチをしていたが、主体的に「これやりたい」「これが好き」という遊びを見つけるのにはかなり時間がかかった。</li> <li>・一人ひとりの個性に合わせておもちゃや遊びを提案し、一緒に取りくんだ。遊びの中ではお友だちや保育者との関わりが増えたと思う。</li> </ul>	→園ではお子さんの体調に留意し不調の場合速やかに保護者に連絡を取ります。 お家の方もお子さんの様子を見ていただき、登園するようご協力ください。	
		楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が <b>主体的に活動し、創造力を養い</b> 、自分で判断したり、行動したりすることができるように育てる。					

	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
5	表現遊び	A 感じたことや考えたことを表現する豊かな感性をはぐくむ。	教師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚遊びを取り入れ先生が意識的に触れる事で、触覚などの感性を育てた。</li> <li>・子どもたちが感じているありのままの感情を受け止め保育できたと思う。</li> <li>・思い出や運動会などでは、まず自由に表現することを大切にし、子どもたちの発想からヒントを得てダンスの振り付けをすることで、子どもたちも満足感や喜びを感じているようだった。</li> <li>・リトミックで自分なりの表現を楽しんでいる姿があった。</li> <li>・見立て遊びから、言葉でのやりとりが増え、想像力がついてきたと感じた。</li> <li>・自由な表現に自信の無い子どももいたが、日々の生活の中で「それでいいよ」と伝えることで少しずつ自由に表現できるようになってきた。</li> </ul>		4
		B 歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わせたりする喜びを味わえる環境作りをする。	教師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作するとき、ひよこつくしは同じものを作るが、工程差をつけ楽しく作れるよう配慮した。</li> <li>・クラスの子どもたちが歌やダンスなど表現することが大好きだったので、活動や行事に繋げることが出来た。</li> <li>・歌も何曲かひいてみて、「これ知ってる、歌える」という曲を朝の会で楽しんできた。製作は見本の提示、説明後は見本を外し個々の自由な表現を大切にした。また、出来あがった作品を保護者や友だち同士で見合えるように飾りお互いを認め合ったり、褒め合ったりする気持ちを育んできた。</li> <li>・子どもたちが親しみやすい歌を選ぶなどして、表現を楽しめるよう工夫した。発表などでも子どもたちの声を実現できるよう努力した。</li> <li>・思い出では「やってみたい」「やりたい」気持ちを認めて活動できた。</li> <li>・製作では決まったものを決まった手順で行うことを大切にしていたが、次の段階の自由に作る製作を増やしていきかけた。</li> </ul>	⇒月案などで主任と連携していこう。	
			保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトミックや製作がある時は前日から楽しみにしています。</li> <li>・覚えた歌や手遊びを子どもが教えてくれるので、良い刺激になっていると思う。</li> <li>・クラスで歌っている季節の歌や讃美歌をよく口ずさんでいました。楽しそうです。</li> <li>・製作活動はたくさんあり、とてもよかったと思います。鍵盤ハーモニカやハーモニカといったような楽器を演奏する機会もあると更に良いと思う。</li> </ul>	→園児の多様化により難しい部分もありますが、先生が発表の様子を見てもらうことから始めていきたいと思っています。	

	項目	重点目標（取り組み）		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
6	安全教育	避難訓練、交通安全指導、健康安全指導、生活安全指導を通して安全に対する意識を高める。	教師	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩の際基本的交通ルールを伝えることが出来た。</li> <li>行事のないときは積極的に散歩し、交通ルールを伝えグラウンドから園舎への移動の際左右の安全確認をして意識的に渡った。</li> <li>避難訓練も毎月行い防犯・防災を子どもたちと考え、緊張感を持って取り組めた。</li> <li>感染症の季節は特に丁寧に石鹸で手を洗うようにした。</li> <li>インフルエンザが蔓延してしまったことは保育の中で対策不足だったと反省している。</li> </ul>	⇒高熱の出ないコロナ・インフル等対応の難しさを感じました。かかりつけ医に相談し対応しています。	3
			保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練でやったことを家で見せてくれます。</li> <li>先生方が緊張感を持って行ってくれるので、子どもも私たち保護者も真剣に取り組めます。</li> </ul>		
7	食育	A 食事のマナーを通して、左右の優位性・指先の発達・姿勢の保持など、体の健全育成を図る。	教師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の先生と相談し、「手づかみ食べ」を止めずに見守った。（手首の返しが上手になり、スプーンに移行しやすい。）</li> <li>給食の先生と話しながら2・3歳児にとっての適切なフォローが出来た。個人差にも配慮した食事時間を過ごせた。</li> <li>給食の配膳を通して、お皿のおき方、位置に気をつける姿があった。姿勢もご家庭と連携して向き合った。</li> <li>食事を楽しく出来るよう子どもの姿を見守った。</li> <li>「今日はスプーンとフォークは使わない」と意欲的に箸を使う姿があった。丁寧に持ち方の指導を行った。</li> <li>クラス全体的にお箸に移行できていなかった。使いやすい箸を保護者と連携することが難しかった。</li> </ul>	→2025年度は食事の大切さと箸への移行について、6月の参観でお話をさせていただく予定です。	4
		B 栄養のバランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。	保護者	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者も給食を試食できる機会があると嬉しいです。市内の別の幼稚園では子どもの誕生日に子どものクラスと一緒に給食を食べる行事があるそうです。大町幼稚園でもご検討いただけませんか？</li> <li>家でも食べないものもおいしいと食べています。</li> <li>家よりたくさん食べていていつも尊敬しています。</li> </ul>		

	<p>C 感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。</p>	<p>教師</p>	<p>3.4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の成長が目に見えて分かるようなキュウリを育て、毎日水をやった。また、キュウリの浅漬けや塩昆布等クッキングもできた。</li> <li>・枝豆・人参・ほうれん草をプランターで育て、ドキュメンテーションで成長を保護者と共有した。</li> <li>・栽培・収穫を通して給食の食べ物も誰かが作ってくれた物という認識が芽生えたようだ。給食中も「おいしい」と感じると「きゅうしょくの先生ありがとう」と叫んでいた。</li> <li>・自分たちで育て、調理することで興味が広がり、初めて食べる野菜に挑戦するきっかけとなった。</li> <li>・今年は5種類栽培したが天候等でうまく育たなかった。子どもたちと考える機会となった。</li> <li>・野菜の栽培の知識が不足していた。プランターで育ちにくいものを子どもと選んでしまい反省している。</li> </ul>	<p>⇒天候の急変に対応できない場合が増えてきています。 地元のおじいちゃんなどに聞いていきたい。</p>	
		<p>保護者</p>	<p>3.9</p>	<p>・はい！</p>	<p>→うれしいコメントをありがとうございます！</p>	

	項目	重点目標 (取り組み)		平均	取組状況・成果・課題	分析・改善案	学校関係者評価
8	家庭との連携	クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりや電話等で知らせ理解を得る。	教師	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりや電話等で知らせ理解を得る。</li> <li>・日々子どもたちの姿や成長を保護者の方と共有してきた。お家の様子から分かったことも多く保護者の方との連携は重要。</li> <li>・子どもの表情が分かる写真をお便りに乗せることで「これが楽しかったんだ」と親子で話せている様子だった。</li> <li>・子どもの様子は連絡帳で毎日伝えたが、個別に伝えたい場合、送迎の時間では足りないと感じた。</li> <li>・複数担任だったのでお便りを順番に書くことで、違う視点からのお便りとなり勉強になった。</li> <li>・お便りが2週に一回となったので、連絡ノートを活用して伝えてきた。学校評価でもっと共有したいとの保護者の意見に、しっかり話したいと反省した。</li> <li>・ドキュメンテーションを一回しか作れなかった。</li> </ul>	<p>教師の点数の低さについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方と連携していくため、研修による教師の自己教育とICT化による連絡ツールの確保を実施していきます。</li> </ul> <p>⇒全体で共有していきます。</p>	3
		幼稚園は、クラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々会話やクラスだより、電話、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。	保護者	3.7	<p>デジタル化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容はとても丁寧で分かりやすいです。紙媒体が多く感じます。PDFで十分かと思っています。</li> <li>・デジタル化を存分にいただき、携帯でたくさん子どもの様子が見られるようになったら嬉しい（毎日写真で様子を見たい、文章はいりませんので……）</li> <li>・プリント配付の電子化、欠席の連絡もメールなどで連絡できると更に良いと思います。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクレンジャーの感染症による園児欠席情報はありがたいです。</li> <li>・入園の資料が詳しくて助かりました。</li> </ul>	→当園でもICT化を実施するため準備に入りました。	
9	子育ての支援	未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。	教師	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けた際、「園では……していますよ。一緒に考えていきましょう。」と寄り添おうと意識したが、解決できないこともあった。日ごろのエピソードを伝える際、もう少し細かくわかりやすく伝えたい。</li> <li>・今年は個別での相談が多く、保護者の方がどこを心配しているか等一緒に考え続けて共有していくことが出来た。</li> <li>・こひつじ広場などの活動をもっと宣伝すべきだ。</li> <li>・未就園児の子どもたちがたくさん来るように、児童センターや図書館等に何度か出向き、行きたくなるイベントを考えたい。</li> </ul>	⇒保護者の皆さまにも協力していただき当園の良さを分かっていただけのような企画運営していきます。	3

			保護者	<p>3.8</p> <p>○バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの添乗の先生は、バスを降りて来ていただけると一段と安心できますのでお願いします。</li> <li>・バスで帰ってくる際、到着したら椅子にはまり込んで寝ていました。水筒を首から下げていたので窒息しなくて良かったですが、しっかり見守ってほしい。</li> </ul> <p>・クラスだよりで保育のポイントを記載していただけると助かります。言葉だと後で抜け落ちてしまうことがありますので。</p> <p>・ご結婚や産休のあいさつ文を個人で出すのは負担ではない？のかなと、丁寧すぎて恐縮です。</p> <p>・ささいなことでも連絡いただけて助かっています。</p> <p>・いつも細かく、素早くお知らせが届くので、とても助かっています。</p> <p>・クラスだよりの発行回数が減ったのは残念。先生方の負担などを考えると仕方ないし、戻してほしいとは思わないけれど楽しみにしていました。発行なしにならないといいな。</p> <p>・お迎え時や連絡ノートで日々の様子を聞くことができ嬉しかった。クラスだよりをもとに子どもと会話を広げることができました。</p> <p>・クラス以外の先生でも子どもの様子を教えてくれたり、「こんなこと言っていた」などと言って頂けて、子どものことをよく見てくれていると安心できました。</p> <p>・クラスだよりは写真付きでとても分かりやすかったです。</p> <p>○教育時間外保育時・お休みの際の担任との連携について</p> <p>教育時間外保育(午後)の際の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お預かりをお願いする日などは担任の先生からお話を聞く機会が無く、子ども自身もあまり話をしてくれない時は様子が分からず心配です。日々の様子がもう少し情報としていただけるとありがたいです。</li> </ul> <p>・親の送迎の際今日何をやったか先生が良く話してくれるので分かるが、お休みの時のクラスの様子も何か分かるとう嬉しいです。</p>	<p>→教職員は情報を共有し、安心して利用していただけるようマニュアルを再度確認し対応します</p> <p>→教師で確認します。</p> <p>→ お気遣い頂きました、お祝いの言葉をかけて頂きこちらこそありがとうございます。</p> <p>→教師は翌日の準備等をしてはいますが、担任と話したい場合は気軽に声をかけてください。会議中で難しい場合もありますのでご了承ください。</p> <p>→ お休みの場合もクラスだよりを読んでいただき、なお気になる点がある場合は、気軽に担任に声をおかけください。</p>	
--	--	--	-----	--	--	--

1 0	幼稚園運 営	日々の保育記録・ 教材準備・連絡帳 の記入・環境整 備・事務などの効 率化を図る。	教 師	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る</li> <li>・二人担任で時間を効率的に使うことが出来、その分子どもたちの教材準備に充てることが出来た。</li> <li>・副担任に助けてもらい効率的にすすめられた。</li> <li>・お昼寝の時間も日誌を書くことが出来た。</li> <li>・毎日ひとりひとりの連絡ノートを書くことや、日誌などの記録に手一杯で、ドキュメンテーションに手が回らず残念だった。</li> <li>・バランダの草取りなどもう少しできればよかった。</li> </ul>	⇒ICT 化により時間が できることを期待していま す。	3
		年間計画・月案・ 週案・日案等を通 して、計画的に教 育、保育に当た る。	教 師	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週案月案で保育を見直し、次へ活かすことが出来た。</li> <li>・学級経営案を立てることで学期ごと成長してほしい姿を考え保育できた。月案は1, 2か月分しか書けなかった。</li> <li>・日々の記録・計画については毎日しっかりと計画的に出来たと思う。</li> <li>・つくし・ひよこの両担任と一緒に年間計画も含め、連携したのでスムーズだった。</li> </ul>		